

塗料選びに関して皆様からよくいただく質問をまとめました。

Q 外壁、屋根塗料の見積りをお願いしたら様々な種類が出てきました。どのような塗料を選択すれば良いのでしょうか？

A 塗料にはそれぞれ特徴があります。建物の状況や現状の悩み、今後の計画によって選択する塗料は異なります。

塗料には樹脂(素材)の違いはもちろん、水性・弱溶剤、機能性、添加剤などの違いによりかなりの種類があります。一言でこの塗料が良い、悪いと言えるものではなく塗り替えを行う住宅の築年数や立地条件、劣化状況や素材などの建物の状況や、お客様の住まいに関するご要望、今後この家をどのようにメンテナンスして何年住み続けるかなどにより塗料を選ぶことが大切です。下記表をご覧ください。



光触媒	ビュアクリル	フッ素	シリコン	ウレタン	アクリル
塗料の特長 汚れ防止を優先する方にオススメ。太陽光と雨の自然の力でセルフクリーニング効果があり、環境にも優しい。	塗料の特長 高耐久性でありながら、防水に必要な高弾性を有している非常に優れた塗料。	塗料の特長 耐久性を優先する方にオススメ。長期間にわたり変退色、艶引けがなく、耐久性において最高レベル。	塗料の特長 価格と機能のバランスが良い塗料。カラーバリエーションも豊富。	塗料の特長 一般的によく使われる塗料で価格と機能のバランスが良い塗料。	塗料の特長 値段が安く、定期的に塗り替えを楽しみたい方向きの塗料。
デメリット コストが高めで、光が当たらない場所は、効果が薄くなる。塗膜が硬いため、モルタル壁にはオススメしません。	デメリット トータルメリットは大きいですがコストは高め。純度の高い樹脂を使用した水性塗料の為、冬場の施工には工期がかかる。	デメリット コストが高めで、塗膜も硬いものが多く、ひび割れしやすいので注意が必要です。	デメリット 次の塗り替え時期までの十分な耐久性がなく、建物を守り続けるのに不十分な場合もある。	デメリット 耐久性が劣るので長期的な外観維持には不向き。	デメリット 耐久機能が有効な間は防水機能があるが、外壁を保護する塗料としては、オススメできない。
耐久性の目安 約10年～	耐久性の目安 約10年～	耐久性の目安 約10年～	耐久性の目安 約7年～10年	耐久性の目安 約5年～7年	耐久性の目安 約3年～5年

← **高** 一回の塗り替え価格 **安** →
※同じ塗料や種類でもメーカーや商品が違うと耐久年数も異なります。※耐久年数は、気候・温度・立地条件などにより変化します。

塗料の樹脂(素材)だけでもこれだけの種類があり、更には様々な機能やオプションなども存在します。劣化状況などを把握し、専門家である業者に相談してご自宅に最適な塗料をお選びください。



耐久性以外に重要なことはありますか？

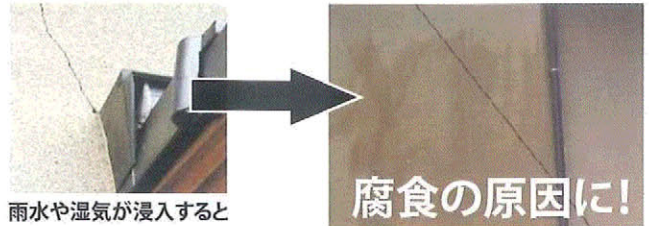
A

**家を雨水の浸入から守る事が重要です。
その為に防水性が高い塗料をおすすめします。**

外壁のひび割れから湿気や雨水が侵入すると住宅の劣化を一気に促進させます。雨水は壁内に侵入すると、木材の腐食が起り、雨漏り等を引き起こしたり、カビ等が断熱材に繁殖し、ハウスダストの原因となる場合もあります。だからこそ、家を水から守る塗料には防水性が必要です。

なぜ建物にひび割れがおこるの？

戸建住宅で使用されている外壁材の多くは、モルタル(リシン吹き)／窯業系サイディングボード／ALCとなり、その主材はすべてセメントです。押し潰す力(圧縮力)が非常に強いので、屋根の様な重いものがのっても潰れることはありませんが、その反面引っ張る力(引張力)には弱く、その引っ張る力に負けてやがてひびが入ります。また吸水性が高いので、表面の防水(塗装)が切れると雨水をよく吸ってしまい、ひび割れを引き起こします。



■ モルタル(リシン吹き)

■ 窯業系サイディングボード

■ ALC

**さらに、塗料に防カビ効果がついているものがオススメです。
カビが及ぼす住宅への影響には以下のようなものがあります。**

美観を損ねる

田んぼに面して緑色になってしまった外壁、ジメジメした北側の壁など通常の塗装では藻やカビが生えてきてしまい、建物の美観を損ねてしまいます。

建材の腐食を促す

カビや藻が建物に生えると、建物の腐食を促す原因となり、建物自体の寿命を大きく縮めてしまいます。

人体への影響

カビの中には人体に対して有毒な種類も存在します。室内外にカビが発生すると、健康被害が発生する可能性があります。

防カビ材を選ぶ際のポイント

一般建築物から検出されているカビ・細菌の種類は57菌と確認されています。しかし、日本では3~5菌の効果で防カビ材と認定されています。防カビ塗料を選ぶ際には対応している菌の種類も確認しましょう。

夏場の暑さを軽減したい方には

**太陽熱を反射させて、表面温度、室内の温度上昇を防ぐ遮熱塗料があります。
一般的に室内は3~5℃程下がるといわれています。**

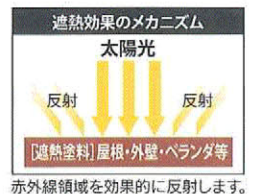
※メーカーにより効果は異なりますので各商品パンフレット等をご確認ください。

遮熱塗料は商品だけではなく、色によっても効果が変わりますのでご注意ください。

遮熱塗料は太陽光を反射させる為、濃色になるほど日射反射率が低くなります。同じ商品であっても黒より白に近い色の方が遮熱効果は高くなります。

助成金が出る自治体が増えていきますのでご確認ください。

現在省エネ対策として、『高反射率塗料』による塗り替えに対し、東京都の23区の一部をはじめ、岐阜や福岡、沖縄など助成金が出る自治体が増えてきています。お住まいの地域が該当地域であるかは、業者や自治体にお問い合わせください。





結局、どういった塗料を選んだら良いのでしょうか？教えてください。

A

もちろんご自宅の素材や状況などにより、選ぶ塗料の種類は変わります。最も大事なのは、長期的に住宅の価値を守る事のできる塗料かということです。良い塗料の必要条件をまとめましたのでご覧ください。

良い塗料選びのポイント



耐久年数10年以上の塗料を選びましょう。



雨水の浸入を防ぐ為
高弾性を有する防水性を備えた塗料をオススメします。



一回分の塗装価格だけでなく
長期で見てコスト低減をできる塗料ですか？



選択した塗料に何年の製品保証があるか確認しましょう。



塗り替えを行う業者が自信を持って
推奨している塗料ですか？



ご自宅の悩みを解決してくれる性能は付いていますか？



人と環境に優しい塗料ですか？

ご自宅の資産価値を長期的に維持する為に、
上記の条件を考慮して最適な塗料を選び、
今後の塗り替え工事を是非
成功させてください。